



単収向上と作付拡大で 麦の生産拡大を図りましょう!

香川県産の小麦「さめきの夢2009」、はだか麦「イチバンボシ」は、ともに実需者から高い評価を得ています。単収向上と作付拡大（作付目標：「さめきの夢2009」1,950ha、「イチバンボシ」750ha）で、麦の生産拡大をお願いします。

令和元年播きにおいても「排水対策の徹底」や「適期播種」などの基本技術の励行で単収向上（小麦360kg/10a、はだか麦340kg/10a）と高品質化を目指しましょう。

「儲かる」麦づくりのために

平成30年播き香川県麦作拡大コンクール
入賞者の取組事例

- ・播種前の雑草防除の徹底、ヨケ（額縁明きよ）や明きよ、スタブルカルチによる早期乾田化を図り、適期播種に努めた。
- ・土入れとともに排水溝の設置を行い、生育期間中の排水対策にも努めた。
- ・中期除草剤を適期に散布して雑草の抑制に努めた。
- ・香川県農地機構を通じて農地を集積するとともに、地元の休耕地を借り受けることにより経営規模を拡大した。

・小麦平年単収：
316kg/10a

・はだか麦平年単収：
284kg/10a

基本技術の
励行による
単収向上

平成30年播き
香川県麦作拡大コンクール
入賞者の平均単収

- ・小麦：**496kg/10a**
- ・はだか麦：**466kg/10a**



基本技術の励行で単収向上を目指しましょう!

～麦づくりは水稲収穫直後から始まります!～

● 播種前の排水対策

水稲収穫後のコンバインのわだちや旋回跡をそのままにしておくと降雨時に水がたまり、土壌が乾きにくくなります。水稲収穫後は、速やかに明きょ（排水溝）をほ場内やほ場の畦周りに設置し、落水口と確実に連結し、雨水がほ場内に停滞しないようにしましょう。

特に排水が悪いほ場では、サブソイラー（弾丸暗きょ）などで、雨水の地下浸透を促すとともに、スタブルカルチや浅耕処理により土壌表層の乾燥を促進すると効果的です。



コンバイン旋回跡



弾丸暗きょと施工後の暗きょ



スタブルカルチの施工



ほ場の畦周りに額縁明きょ(排水溝)設置

● 苦土石灰やケイカルなどで土づくり

作付面積の拡大に伴い、土づくりがおろそかになり、土壌pHの低下等の原因による生育不良ほ場が増加しています。

播種前に苦土石灰などの土壌改良剤を施用して土づくりを行います。なお、土づくりのため、稲わらやもみ殻は焼却せずすき込みましょう。

原因

- ① pH低下による酸性障害
- ② 微量元素欠乏(過剰)による生理障害

対策

- ① 苦土石灰の施用
- ② ケイカル等の土づくり肥料の施用



低pHによる生育不良

●適期播種で収量と品質の向上

播種適期の降雨により、播種が遅れたり、練り播きによる出芽不良などにより収量が低下する事例が見られます。

播種早限になり土壌水分が適正になったら、すぐに播種作業を開始できるよう、機械・播種機の点検などの準備を進めておきましょう。

適期に播種することにより収量は多く、品質は良くなり、播種が遅れるほど、収量は減少し、品質は低下します。

また、裸黒穂病等の種子伝染性病害の発生を防ぐため、毎年、種子更新を行うとともに、播種前に種子消毒を実施しましょう。



裸黒穂病

小麦、はだか麦ともに
播種早限 → 11月10日
播種適期 → 11月15～25日

●小麦栽培における新しい施肥法と新しい基肥一発肥料

令和2年産小麦の栽培しおりから、新しい施肥法「**基肥減肥・追肥重点体系**」と新しい基肥一発肥料「**さぬきの夢一発**」が掲載されました。

- ・「**基肥減肥・追肥重点体系**」では、従来の追肥体系よりも基肥の施用量を減らし、減らした相当量を追肥に充てるとともに追肥の回数を従来の1回から2回に増やしています。生育期の肥料切れを防ぎ、穂数の確保や粒の充実向上による収量や品質の向上を目的とした施肥法です。
- ・新しい基肥一発肥料「**さぬきの夢一発**」では、従来の基肥一発肥料より速効性窒素量を減らし、緩効性窒素量を増やしています。「**基肥減肥・追肥重点体系**」と同様に、生育期の肥料切れを防ぎ、穂数の確保や粒の充実向上による収量や品質の向上を目的としています。

※「**基肥減肥・追肥重点体系**」や「**さぬきの夢一発**」の施肥量、施用時期などの詳細は令和2年産小麦の栽培しおりを参照してください。

●播種後の排水対策

うね盛板やサイドリッジャー、管理機を用いて速やかにほ場の畦周りも含めて排水溝を設置しましょう。また、排水溝同士や排水溝と落水口が連結されていないため、ほ場内に水が溜まってしまっているほ場も見られます。苦労して設置した排水溝の効果を高めるため、排水溝同士や排水溝と落水口は確実に連結しましょう。



管理機による溝付け



排水溝と排水溝の連結



排水溝と落水口の連結



連結不足による滞水

● 初期除草剤で雑草を確実に抑える

麦の播種後は、確実に初期除草剤を散布して、雑草の発生を防ぎましょう。初期除草剤（全面土壌散布を行う土壌処理剤）の効果が高めるため、散布ムラのないようにていねいに散布します。初期除草剤の散布後に大雨が降ったり、散布が遅れるなどの原因で雑草が発生した場合には、雑草の種類や葉齢をしっかりと確認し、適期に中期除草剤を散布しましょう。中期除草剤の散布が遅れると除草効果が劣るので散布時期を逃さないように注意します。



スズメノテッポウ



スズメノカタビラ



ノミノフスマ



ヤエムグラ



カラスノエンドウ

● 草種に応じた除草剤選択と体系処理で難防除雑草を抑える

<除草剤抵抗性スズメノテッポウ>

トレファノサイドやハーモニーが効かない除草剤抵抗性スズメノテッポウが発生しているほ場が見られます。このようなほ場では、初期除草剤にボクサーやリベレーターフロアブルを使用しましょう。また、除草剤の効果が高めるために、初期除草剤は2～3年ごとに変更しましょう。

<オオスズメノカタビラ、ネズミムギ、カラスムギ>

播種前の非選択性茎葉処理剤と播種後の土壌処理剤による体系処理が効果的です。なお、単年で根絶は難しいので、複数年の体系処理が必要です。また、ネズミムギとカラスムギは夏期の湛水も有効です。



ネズミムギ



カラスムギ



オオスズメノカタビラ

令和元年産麦の作柄状況と需給動向

令和元年産麦は、適切な栽培管理の実施に加え、播種期や収穫期が好天に恵まれ適期作業が行えたこともあり、近年にない豊作となりました。1等比率は「さぬきの夢2009」で約85%、「イチバンボシ」で約90%と見込まれています。

(1) さぬきの夢2009

うどん用小麦として、実需者からの評価も高く、国産麺用小麦として高値で取引されています。生産数量が購入希望数量を上回る結果となりました。

(2) イチバンボシ

実需者からは品質の良さを評価されており、健康食ブームなどによりはだか麦の持つ機能性が注目されています。近年、需要が急増しており、販売（生産）予定数量に対して、購入希望数量が上回っている状況が続いています。

令和元年産麦の購入希望数量と検査結果

(単位:ha、トン)

銘柄	購入希望数量①	面積②	検査数量③	単収③/②	購入比③/①	1等比率
さぬきの夢2009	6,469	1,888	8,577	454kg/10a	132.6%	約85%
イチバンボシ	3,769	675	2,889	428kg/10a	76.7%	約90%

※8月末時点の検査結果

令和2年産麦の需給状況

令和2年産麦の販売予定数量は、さぬきの夢2009で6,177トン、イチバンボシで2,099トンとなっています。一方、購入希望数量は、さぬきの夢2009で5,839トン、イチバンボシで3,597トンとなりました。

香川県産の小麦・はだか麦ともに実需者からの評価は高いため、今後も面積拡大や単収向上により、安定した生産量を確保しましょう。そのためにも小麦、はだか麦の2麦をバランスよく栽培することにより、作期分散による適期作業やリスクの分散を行きましょう。

作付面積拡大と単収向上で、使い手が望む品質と生産量を目指そう!

「おいでまい」委員会からのお知らせ

第4回「おいでまい」品質・食味コンクールの開催について

「おいでまい」栽培者の皆様が丹精込めて作り上げた「おいでまい」から、最高の「おいでまい」を選びます。

上位入賞者には表彰状とともに豪華賞品を贈呈します。また、ご出品いただいた方全員に、食味分析結果と参加賞をお送りしますので、奮ってご参加ください!

出品
方法

募集期間内に玄米2kgと出品申込書をご提出ください。

募集期間：令和元年10月9日（水）～11月6日（水）

申込先：最寄りのJA香川県各地区営農センター企画農産課、JAふれあいセンター

※募集チラシ、出品申込書、玄米提出用袋はJA窓口にあります。

出品時の主な注意事項

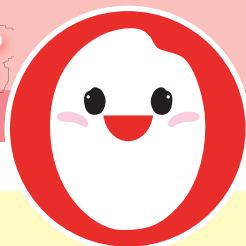
- ・ 出品いただいた玄米は返却できません。
- ・ 出品は1生産者につき1点で、令和元年産「おいでまい」に限ります。
- ・ 玄米水分が12%以下と16%以上の出品物は正確な分析ができないため、審査対象外となります。



募集チラシ

令和2年産「おいでまい」栽培者の募集について

県オリジナル水稲品種「おいでまい」について、所定の要件を満たす方を「おいでまい」栽培者として登録します！



「おいでまい」栽培者が守るべき主な事項

- (1) ライスグレーダーの篩目は、1.85mm以上を使用する。
- (2) 「おいでまい」の種子、苗が余った場合は適切に処分し、決して他者に譲渡しない。自家採種もしない。
- (3) 販売を目的とした栽培とし、飯米など自家消費を目的とした栽培や未検査米での出荷はしない。
- (4) 収穫した「おいでまい」については、農産物検査と食味分析を受け、その結果を報告する。

■ 綾川町の栽培者及び作付拡大地域のJAカントリーエレベータ出荷者

- ・綾川町の栽培者及び作付拡大地域のJAカントリーエレベータ出荷者は自動的に「おいでまい」栽培者として登録しますので、特に手続きは必要ありません。
- ・種苗の購入実績等の情報は、「おいでまい」委員会が別途JAから収集しますのでご了承ください。
- ・上記の「おいでまい」栽培者が守るべき事項を遵守した上での栽培をお願いします。

■ 倉前出荷者

○2019年産（令和元年産）「おいでまい」栽培者として登録されている方

令和2年産も継続して「おいでまい」を栽培する場合は、栽培者が守るべき事項と登録要件を満たしていれば、改めて書類を提出していただく必要はありません。

○令和2年産から新しく「おいでまい」の栽培を希望する方（倉前出荷の方）

栽培者が守るべき事項と登録要件を満たしていることをよく確認した上で、下記のとおり**栽培誓約書**をご提出ください。

① 募集期間 令和元年**10月9日**水 ～令和2年**1月31日**金

② 書類の入手方法

令和2年産「おいでまい」栽培実施要領、栽培者登録要領（「栽培誓約書」を含む。）等の必要書類は最寄りのJA香川県各地区営農センター及びふれあいセンターに準備しています。

（香川県ホームページ「さぬきの農産物応援団」、JA香川県ホームページからもダウンロード可）

③ 応募方法と栽培誓約書の提出先

令和2年産「おいでまい」栽培誓約書を作成し、最寄りのJA香川県各地区営農センター又はふれあいセンターにご提出下さい。

倉前出荷者が令和2年産「おいでまい」栽培者として登録されるための主な要件

- (1) 乾燥機、籾摺り機、ライスグレーダー等の乾燥調製設備を装備していること。ただし、「おいでまい」栽培者に共同育苗及び乾燥、調整作業の他者への委託を行う場合はこの限りでない。
- (2) 令和元年産水稲の令和2年1月末までの農産物検査実績があること。ただし、2019年産（令和元年産）「おいでまい」栽培者は、令和2年1月末までの「おいでまい」の農産物検査実績があること。

詳しくは、JA窓口準備している「『令和2年産おいでまい』栽培者募集案内」をご覧ください。

募集についてのお問い合わせ先

- 「おいでまい」委員会事務局
（香川県農政水産部農業生産流通課 農産グループ）…………… TEL：087-832-3418
- JA香川県（本店）営農部農産販売課…………… TEL：087-818-4109

○内容に関するお問い合わせ先

- 香川県農業協同組合中央会 総合対策部 総合対策課…………… TEL：087-825-2503
- 香川県農業協同組合 営農部農産販売課…………… TEL：087-818-4109
- 香川県農政水産部 農業生産流通課…………… TEL：087-832-3418
- 香川県農業再生協議会ホームページ…………… <https://www.kagawa-saiseikyo.jp/>